

甲斐市議会予算審査特別委員会会議録

1. 開催日時 平成30年3月6日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（20名）

委員長	赤澤厚君	副委員長	金丸幸司君
	横山洋介君		滝川美幸君
	五味武彦君		金丸寛君
	小澤重則君		松井豊君
	清水正二君		斉藤芳夫君
	米山昇君		山本今朝雄君
	有泉庸一郎君		長谷部集君
	山本英俊君		内藤久歳君
	藤原正夫君		池神哲子君
	保坂芳子君		樋泉明広君

欠席委員（1名）

三浦進吾君

傍聴議員（1名）

議長 小浦宗光君

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	岩下和也	書記	輿石文明
書記	小澤裕一	書記	有野恵里

審査内容

1 正副委員長の互選

開会 午前11時14分

○書記（輿石文明君） それではご起立願います。

相互に礼。

ご着席ください。

お疲れさまです。

本日の委員会は、先ほど議長より招集がありました。案件につきましては、正副委員長の互選となります。臨時の委員長は、委員会条例により年長の池神委員にお願いをしますので、よろしく願います。

それでは、池神委員、よろしく願います。

○臨時委員長（池神哲子君） 本日の委員会は、予算審査特別委員会設置後の初めての委員会です。委員会条例第10条第2項の規定によりまして、委員長が決まるまでの間、年長の私が委員長の職を行います。

どうぞよろしくご協力のほど願います。

ただいまの出席委員は20名です。定足数に達しておりますので、これより予算審査特別委員会を開会いたします。

なお、三浦委員は欠席でありますので、ご報告いたします。

では、本日の会議を開きます。

これより委員長の互選を行います。

お諮りいたします。委員長の互選については、会議規則第126条第5項の規定により、指名推選によりたいと思います。

これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○臨時委員長（池神哲子君） ご異議なしと認めます。

したがって、委員長の互選は指名推選によることに決定いたしました。

それでは、いかがでございましょうか、どなたか発言を。

内藤委員。

○委員（内藤久歳君） 赤澤委員を推選したいと思います。

以上です。

○臨時委員長（池神哲子君） ただいま内藤委員会から赤澤委員の推選がありました。

これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○臨時委員長（池神哲子君） では、異議なしと認めます。

それでは委員長を指名いたします。

予算審査特別委員会委員長には、赤澤委員を指名いたします。

これに異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○臨時委員長（池神哲子君） 異議なしと認めます。

よって、予算審査特別委員会委員長には、赤澤委員が当選されました。

ただいま当選なされました赤澤委員長より就任の挨拶がございます。

ここで委員長と交代させていただきます。

どうもありがとうございました。

〔臨時委員長、委員長と交代〕

○委員長（赤澤 厚君） ただいま委員の皆様より委員長のご指名をいただきました赤澤厚で
ございます。

大変微力ではございますけれども、委員の皆様方のご協力をいただきながら、平成30年
度当初予算、大変市民のとうとい税金の使い道を委員の皆さん方に慎重審議をしていただく
委員会でございます。どうかよろしくご協力を賜りますよう、お願いを申し上げる次第でござ
います。よろしく申し上げます。

それでは、引き続き副委員長の互選を行います。

副委員長の互選も委員長と同様、会議規則第126条第5項の規定により、指名推選により
たいと思います。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（赤澤 厚君） 異議なしと認めます。

したがって、副委員長の互選は指名推選によることに決定いたしました。

ここでお諮りします。副委員長の指名方法は、委員長において指名することにいたしたいと思えます。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（赤澤 厚君） ご異議なしと認めます。

よって、副委員長の指名方法は、委員長において指名することに決定いたしました。

それでは、副委員長を指名いたします。

副委員長には金丸幸司君を指名いたします。

これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（赤澤 厚君） ご異議なしと認め、副委員長には金丸幸司委員が当選されました。

ただいま当選されました金丸幸司副委員長より就任の挨拶がございます。

金丸君。

○副委員長（金丸幸司君） このたび予算審査特別委員会の副委員長の任命を受けました金丸幸司です。

何分、私、今回初めてであります。ふなれな部分もありますが、委員の皆様方のご協力をいただきながら、しっかり進めてまいりますので、何とぞよろしく願いいたしまして、挨拶とさせていただきます。よろしく願いいたします。

○委員長（赤澤 厚君） 次に、審査案件について、事務局の説明を求めます。

興石係長。

○書記（興石文明君） それでは、お手元の審査日程（案）横版の表をお願いいたします。

予算審査特別委員会につきましては、あす7日から14日までの5日間で行います。いずれも午前9時30分開会であります。

あす7日は一般会計の歳出で、企画政策部長の概要説明から敷島・双葉支所までとなります。翌8日木曜日が市民窓口課から環境課まで、翌9日金曜日が商工観光課から教育総務課までになります。10日、11日は土日のため休会となります。翌12日月曜日が学校教育課から歳入と特別会計が2件になります。翌13日は中学校卒業式のため休会、翌14日水曜日が特別会計及び水道事業会計の審査となります。なお、翌15日木曜日は委員会の予備日となります。

あすから、お手元に配付してあります審査日程（予定）こちらの縦版のつづりと、あと委

員会の座席表を配付してありますので、これによりまして審査のほうを行いたいと思います。
よろしく願いいたします。

○委員長（赤澤 厚君） それでは、委員より質疑がありましたら、お願いいたします。
ございませんか。

〔発言する者なし〕

○委員長（赤澤 厚君） 質疑がありませんので、質疑を終了します。
それでは、この日程により行うことに決定してよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（赤澤 厚君） それでは、そのように決定します。
以上で、審査日程についてを終わります。

○委員長（赤澤 厚君） これをもちまして、予算審査特別委員会を閉会させていただきます。
ご苦労さまでした。

○副委員長（金丸幸司君） ご起立願います。
相互に礼。

閉会 午前11時22分